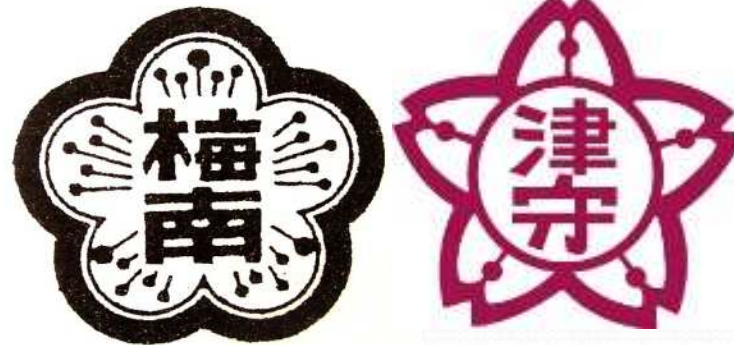


資料 2

(差替え版)



大阪市立梅南津守小学校

統合へ そして・・・統合してから・・・



- ・ 通学の安全など統合前に課題として心配されていたことなど実際に移行してどうだったか

実際に実施して改善・・・路側帯、横断する歩道の変更、見守り活動、ミマモルメの導入、教職員の巡視（小中）



・ 通学の安全など統合前に課題として心配されていたことなど実際に移行してどうだったか

実際に実施して改善・・・路側帯、横断する歩道の変更、見守り活動、ミマモルメの導入、教職員の巡視（小中）



・通学の安全など統合前に課題として心配されていたことなど実際に移行してどうだったか

実際に実施して改善・・・路側帯、横断する歩道の変更、見守り活動、ミマモルメの導入、教職員の巡視（小中）



・通学の安全など統合前に課題として心配されていたことなど実際に移行してどうだったか

実際に実施して改善・・・路側帯、横断する歩道の変更、見守り活動、ミマモルメの導入、教職員の巡視（小中）



学校ごとに異なる設置経過や文化を活かしていくのに配慮した点

平成26年9月 第1回梅南小、津守小職員の顔合わせ会
交流会の打ち合わせ 各学年2回 相互に訪問
(ゲーム、ドッジボール、歌など)
自己紹介カードの互いの教室への掲示

平成27年1月 第2回梅南小、津守小職員の顔合わせ会
児童交流の打ち合わせ 相互に訪問
新2年生・新1年生入学式のお迎えの練習
物品の移動の打ち合わせ
図書館の蔵書の選択

管理職、事務職、管理作業員、給食調理員はそれぞれ別に連絡会をもった。

学校行事、PTAの調整(決算、規約改正、次年度役員決定)

地域との関わりについて、小学校を中心として地域コミュニティが形成されている中でどんな点に苦慮し、逆にどんな点で助けられたか。

課題 梅南・津守両地域が、なかよく様々な調整を行うこと

- ・ 3月26日 梅南・津守 両地域合同懇親会開催
- ・ 4月7日梅南津守小学校入学式
- ・ 4月26日梅南津守小学校開校式

「すべては子どもたちのために」という思いに満ちたいずれも非常に友好的に開催された。

両地域が統合に向けて順調にスタートしたことが、子どもたちに良い影響を与えた

移行にあたって学校教育面で配慮したこと
新旧教員間の連携や苦勞した点、工夫した点

- ・梅南津守小学校の教職員が、まず1つのチームとなること
- ・互いの学校で微妙に違っていることは、よく話し合って調整する。
- ・あせらずに時間をかけて話し合うこと
- ・梅南地域、津守地域両地域以外の児童、新転任教職員に配慮が必要。
- ・情報発信・・・HP、学校便り、校長室だより、学年・学級通信

・子どもたちの事前交流、実際に移行して表面化した課題とそれをどう克服していったか。

交流会自体はどの学年も問題なく良い形で終了

・・・児童もお互いのなまえを覚え、「はやく4月が来たらいいのに」会ったらすぐに声を掛け合う姿も

・ドッジボールをすれば、津守はほとんどぼろ負け状態・・・1学年の人数が6人や7人では、

・新2年生のお迎えの練習・・・息の合った発表

・校区の広がり、保護者への啓発、情報発信

地域コミュニティの中心としての小学校が統合されるにあたって移行時の課題やうまくいった点、難しかった点(たとえば、見守り活動の調整、行事の実施場所の確保や調整)

・地域行事は、基本的に梅南連合町会、津守連合町会を

基本として実施している。

・見守り活動は、現在のところ津守は毎日、梅南は全町会で月曜日実施している。



大阪市立梅南津守小学校

校訓

「きらりと光る 子ども 学校・・・」



おしまい